

将来の公共施設を考える意見交換会 開催結果

1 開催の概要

(1) 全体概要

日時	場所	参加者数
令和7年10月18日(土) 9:30-12:00	目黒区総合庁舎 (レストラン)	33名 (事務局除く)
令和7年10月28日(火) 18:00-20:30	緑が丘文化会館 (203)	28名 (事務局除く)

(2) プログラム概要

時間 ※()は夜開催	内容
9:30(18:00)	開会 ・各テーブルでの自己紹介(名前、よく使う公共施設など)
9:45(18:15)	意見交換会の目的 ・意見交換会の目的・背景の説明
9:55(18:25)	グループワークのテーマ ・グループワークのテーマ(テーマ1、テーマ2)の説明 ・グループワークで想定する「これから」と「公共施設」の範囲の説明
10:00(18:30)	グループワーク ・グループワーク(テーマ1)の進め方、使用するカードの説明【5分】 ・グループワーク(テーマ1)【35分】 ・グループワーク(テーマ2)の進め方、使用するカードの説明【5分】 ・グループワーク(テーマ2)【25分】
11:10(19:40)	休憩
11:20(19:50)	発表 ・各グループ5分程度で模造紙を用いて発表
11:55(20:25)	閉会

2 開催結果

(1) 全体概要

区からワークショップの目的、目黒区の公共施設の現状と課題などについて説明を行いました。その後、ファシリテーターからグループワークの概要や作業の流れ等の説明を行い、参加者は、これからの公共施設にとって必要だと思う役割(テーマ1)と、これからの必要な役割を実現するための対応策(テーマ2)について意見交換を行い、その結果を模造紙にまとめました。模造紙の内容は各グループから全体に発表を行いました。

(2) 会場の様子



※参加者のプライバシーに配慮するため、ぼかし加工を加えています。

(3) グループワークの結果 (凡例)

各グループでは、意見交換の結果を次の凡例により模造紙にまとめています。

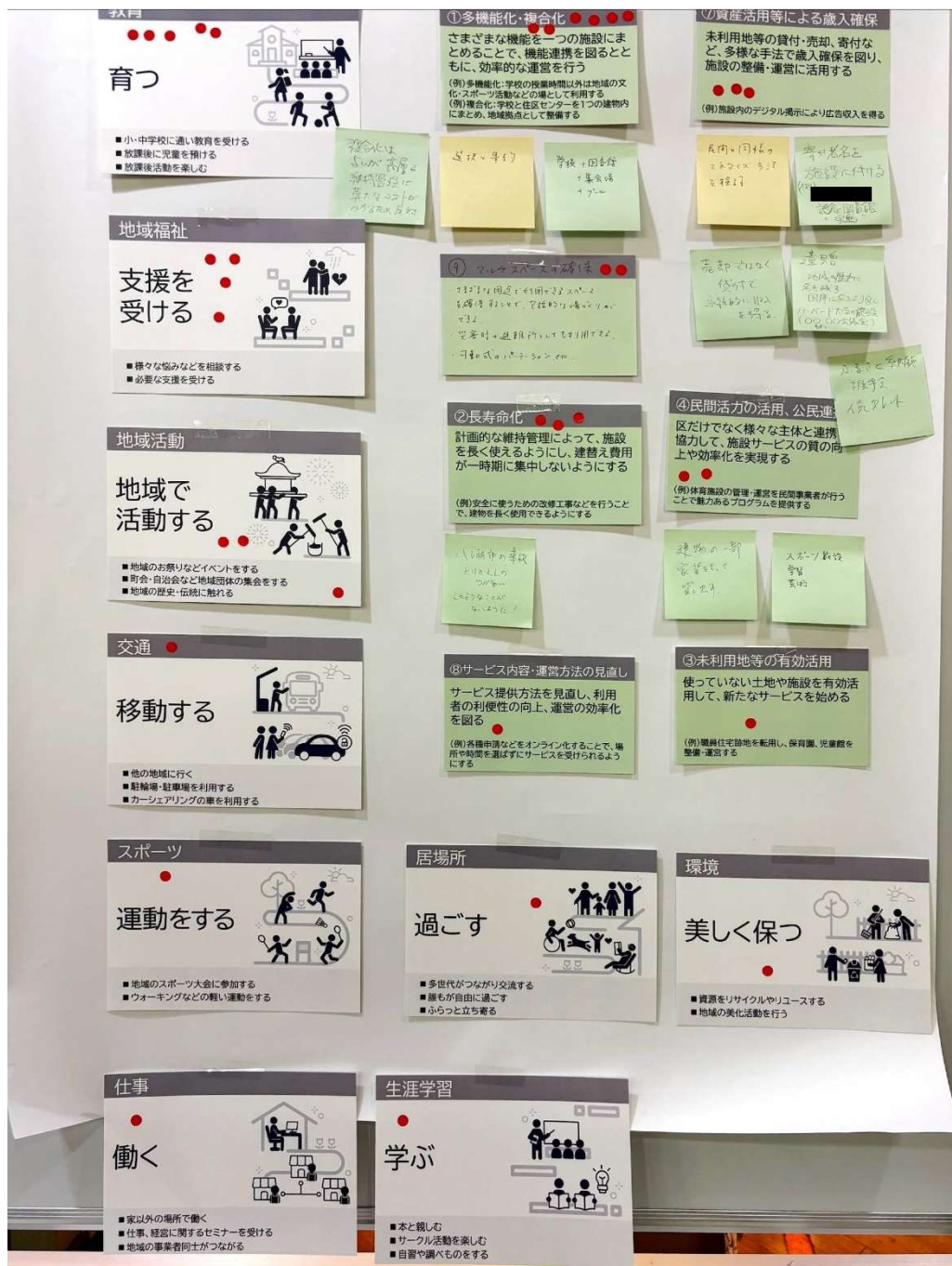
(凡例)

- ・テーマ1 : 白の役割カード
- ・テーマ2 : 緑の対応策カード
- ・赤いシール : 参加者が特に重要だと思った役割カード及び対応策カード
- ・ふせん : 参加者からの追加の意見

(4) グループワークの結果 (10月18日)

ア Aグループ

(ア) 模造紙及びグループで出た意見の要約



これからの公共施設には教育、地域福祉、地域活動、スポーツ、生涯学習など多様な役割が求められ、誰もが集える居場所や環境美化、アクセスの良さも重要だと話し合われました。

対応策として、複数の機能を集約した多機能化やマルチスペースの確保、資産活用による財源確保、長寿命化、民間との連携、デジタル化による効率化などが必要との意見が出ました。特に、地域のつながりや世代を超えた交流を支える柔軟な施設運営が重視されました。また、未利用地の有効活用や寄付・ふるさと納税など新たな財源確保策も提案されました。

(イ) グループで出た主な意見

テーマ1 これからの公共施設にとって必要だと思う役割

- **教育**：学校施設の充実や、外部からも魅力的と思われる教育環境づくりが重要。住区住民会議やコミュニティスクールの推進など、地域と連携した教育活動に期待する。
- **地域福祉**：高齢者や障害者、子どもなど、支援が必要な人へのサポート拠点としての役割が重要であり、地域での見守りや相談、福祉サービスの提供も求められる。
- **地域活動**：地域の伝統行事や住民活動、課題解決のための話し合いの場としての役割が重要である。また、地域のつながりや世代を超えた交流の場の役割も期待される。
- **交通**：高齢化社会を見据え、公共施設へのアクセスや移動手段の確保が重要。公共交通の利便性向上や、施設の立地への配慮が必要。
- **スポーツ**：公共施設による健康増進や世代間交流の場として、運動・スポーツの場の提供が必要。民間スポーツ施設は高額なため、誰もが平等に利用できる公的な運動施設が求められる。
- **居場所**：子どもから高齢者まで、誰もが気軽に集える「居場所」が必要であり、目的を限定しない、フラットで自由に使えるスペースが必要。孤立防止や地域のつながり強化につながる。
- **環境**：公園や公共空間の清掃・美観維持、トイレの清潔さなど、環境美化も重要な役割。街全体を美しく保つための拠点としての機能が求められる。治安や地域のイメージ向上にもつながる。
- **仕事**：働く世代のためのワークスペースや、地域での就労支援の場としての役割が求められる。
- **生涯学習**：学び続ける場として、外部講師を招いた講座や、住民同士が教え合う場の提供が必要。知的好奇心を満たし、地域の多様な人材が交流できる場としても重要。

テーマ2 これからの必要な役割を実現するための対応策

- **多機能化・複合化**：複数の機能を一つの施設に集約し、効率的な運営・維持管理を目指すべき。(例：学校＋図書館＋集会所＋プール)
- **資産活用等による歳入確保**：未利用地の貸付や寄付者名を施設に付けるなど、民間的な発想で歳入を増やす。ふるさと納税、施設内広告料収入なども活用する。
- **マルチスペースの確保**：目的を限定しない、誰でも使えるフラットなスペースの確保が重要。可動式パーティションなどで多目的に使える空間を作る。災害時の避難所を含め多様な用途に対応。
- **長寿命化**：建替費用の集中を避け、計画的なメンテナンスで施設を長く使う。インフラ・施設の安全管理を徹底し、事故や災害を防ぐ。
- **民間活力の活用・公民連携**：スポーツ施設や芸術施設の運営を民間委託し、民間ノウハウを導入。民間活力を活用しつつ、行政の責任範囲も明確にする。
- **サービス内容・運営方法の見直し**：行政手続や予約などのデジタル化、オンライン化による効率化・利便性向上。教科書の電子化やアプリでのワクチン予約など、時代に合わせたサービス提供。
- **未利用地等の有効活用**：使われていない土地や施設を有効活用し、新たなサービスや収入源にする。売却だけでなく、貸付や一時利用など多様な活用方法を検討。

イ Bグループ

(ア) 模造紙及びグループで出た意見の要約

B

スポーツ

運動をする

- 地域のスポーツ大会に参加する
- ウォーキングなどの軽い運動をする

健康増進

健康を保つ

- 健康診断や予防接種を受ける
- 健康について相談する
- 健康講座などを受ける

文化芸術

**演奏する
創作する**

- 楽器を演奏する
- 絵や写真を楽しむ
- ハンドメイドでモノをつくる

地域防災

命と財産を守る

- 災害が起きたときに避難する
- 備蓄品などを保管する
- 消防団が活動する

居場所

過ごす

- 多世代がつながり交流する
- 誰もが自由に過ごす
- ふらっと立ち寄る

環境

美しく保つ

- 資源をリサイクルやリユースする
- 地域の美化活動を行う

娯楽

楽しむ

- 囲碁、将棋などを楽しむ
- ゲームをする、動画を見る
- おもちゃで遊ぶ

子ども子育て

子育てする

- 保育園に預ける
- 安全安心な場所を選ぶ
- 子育ての相談をする

地域福祉

支援を受ける

- 様々な悩みなどを相談する
- 必要な支援を受ける

窓口

情報を得る

- 行政手続きができる
- 行政に関する情報を知る
- 地域のイベント情報を知る

生涯学習

学ぶ

- 本と親しむ
- サークル活動を楽しむ
- 自習や調べものをする

①多機能化・複合化

さまざまな機能を一つの施設にまとめることで、機能連携を図るとともに、効率的な運営を行う

(例) 多機能化: 学校の授業時間以外に地域の文化・スポーツ活動などの場として利用する
(例) 複合化: 学校や公民館センターを1つの建物内にまとめ、地域拠点として整備する

②長寿命化

計画的な維持管理によって、施設を長く使えるようにし、建替え費用が一時期に集中しないようにする

(例) 安全に使うための改修工事などを行うことで、建物を長く使用できるようにする

③未利用地等の有効活用

使っていない土地や施設を有効活用して、新たなサービスを始める

(例) 職員住宅跡地を転用し、保育園、児童館を整備・運営する

④民間活力の活用・公民連携

区だけでなく様々な主体と連携・協力して、施設サービスの質の向上や効率化を実現する

(例) 体育施設の管理・運営を民間事業者が行うことで魅力あるプログラムを提供する

⑤施設の省エネ化・創エネ化

施設で使う電力の省エネルギー化など、環境負荷を軽減する

(例) 照明設備のLED化や太陽光発電を導入して環境負荷の軽減と光熱費を削減する

⑥受益者負担の適正化

施設サービスを利用するかたど利用しないかたの公平性を実現し、維持管理にかかる財源を確保する

(例) 施設の維持管理にかかる経費や利用率を確認し、適切に使用料を設定する

⑦サービス内容・運営方法の見直し

サービス提供方法を見直し、利用者の利便性の向上、運営の効率化を図る

(例) 各種申請などをオンライン化することで、場所や時間を問わずにサービスを受けられるようにする

公共施設に求める役割として、スポーツ、健康増進、文化芸術、地域防災、居場所、環境、娯楽、子ども子育て、地域福祉、窓口、生涯学習が挙げられました。

対応策として、多機能化・複合化、民間活力の活用・公民連携、長寿命化、施設の省エネ化・創エネ化、サービス内容・運営方法の見直し、受益者負担の適正化といった対応策が議論されました。特に、財源の制約や環境問題への対応、利用者視点の運営が重要との意見がありました。

(イ) グループで出た主な意見

テーマ1 これからの公共施設にとって必要だと思う役割

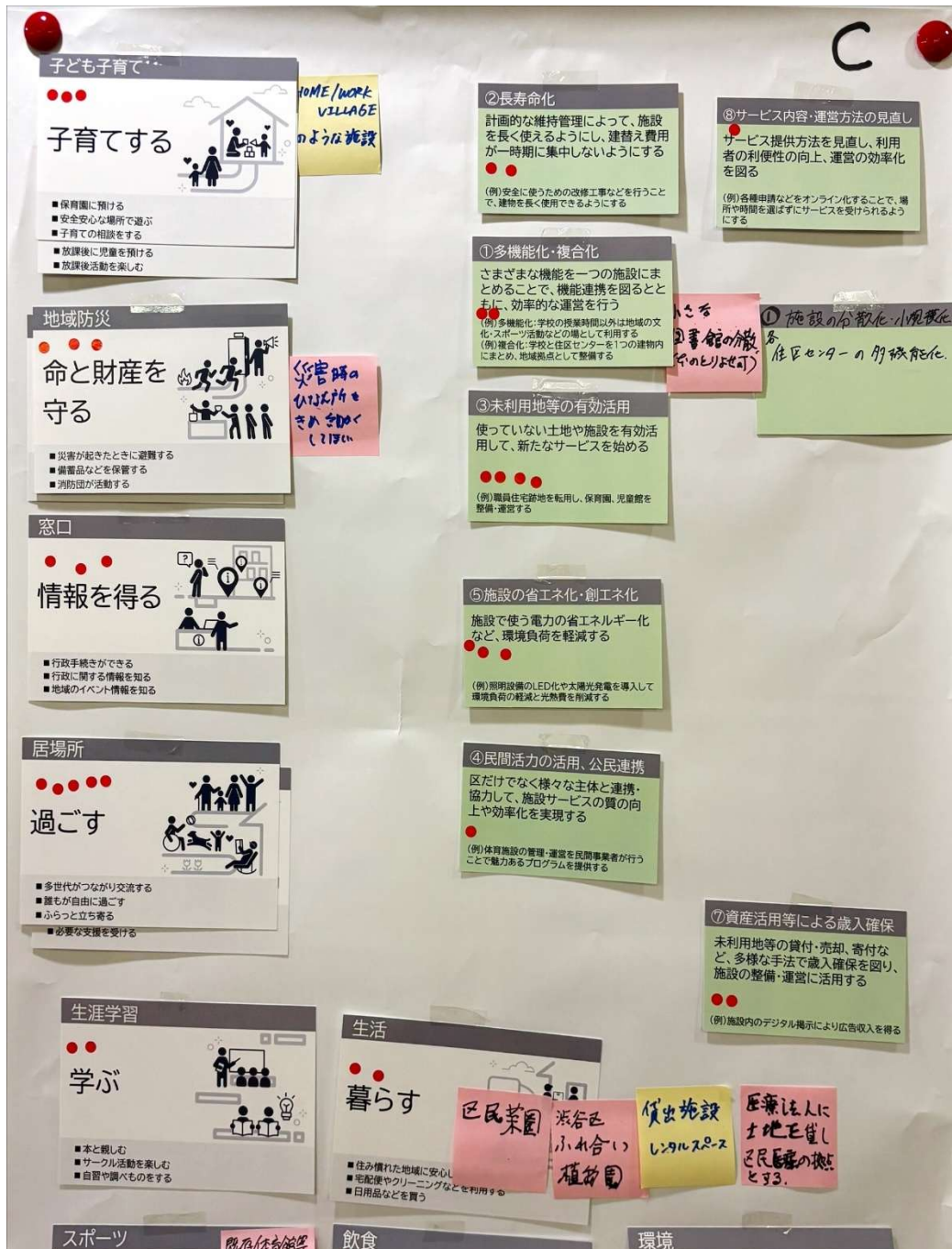
- **スポーツ**：区民センターやプールなど、運動ができる場所が重要である。目黒区は全国的にみても施設が充実しているため、今後も活用してほしい。
- **健康増進**：運動施設の利用を通じて、区民の健康増進に寄与する役割が求められている。
- **文化芸術**：目黒区には美術館など素晴らしい文化施設が多く、これらを長期間使えるよう長寿命化を進めていくべき。
- **地域防災**：近年のゲリラ豪雨などを踏まえ、地域防災の役割が非常に重要となっており、防災面での十分な対策が必要である。
- **居場所**：区民が楽しめる場所、居場所として公共施設が重要であり、利用者の視点からは、利用料金の値上げは抑えてほしい。
- **環境**：目黒川など自然が豊かであり、水資源や環境を守る必要がある。また、CO2削減など地球温暖化への対応も必要。
- **娯楽**：運動や各種イベントなど、区民が楽しめる機能が公共施設にあってほしい。
- **子ども子育て**：学校を教育施設のほか、地域の拠点として様々な活動ができる場にするべき。
- **地域福祉**：必要な支援が必要な時に受けられるようにすることが重要だが、支援制度の周知が不十分なので、広報を強化すべきである。
- **窓口**：支援制度の窓口としての機能を充実させ、利用者が必要な情報を得やすくすることが求められている。
- **生涯学習**：生涯学習も含めた多様な役割を果たすため、幅広い機能を備える必要がある。

テーマ2 これからの必要な役割を実現するための対応策

- **多機能化・複合化**：多様な役割を備えるためには、施設の多機能化・複合化が不可欠。また、財源が限られる中で、効率的な運営のためにも重要となる。
- **未利用地等の有効活用**：既存施設や未利用地の有効活用が今後の課題となる。
- **民間活力の活用・公民連携**：民間活力を活用し、財源問題を解決しつつ、公共施設の役割を維持することが重要となる。
- **受益者負担の適正化**：利用料金を抑えてほしいという利用者の視点にも留意しながら、受益者負担を適正化していく必要がある。
- **サービス内容・運営方法の見直し**：各種手続のオンライン化の進展を踏まえ、公共施設で提供するサービス内容や運営方法についても見直しが必要となる。
- **長寿命化**：文化施設などを長期間使えるよう、長寿命化の取組が求められている。環境を美しく保つためにも重要。
- **施設の省エネ化・創エネ化**：CO2削減など環境問題への対応として、省エネ化・創エネ化の施策が必要である。ゼロカーボンシティを目指す区の目標達成に向けて取組を進めるべき。

ウ Cグループ

(ア) 模造紙及びグループで出た意見の要約



※Bグループでは、「子ども子育て」と「教育」、「地域防災」と「治安・防犯」、「居場所」と「地域福祉」を、それぞれ密接に重なる役割として選び、2つのカードをそれぞれ重ねています。

公共施設の役割として、公共施設に最低限必要な機能（子育て、防災、情報提供など）と、生活の質を高める機能（居場所、学び、運動、飲食、環境など）の両立が重視されました。

対応策としては、財源の制約を踏まえ、新築より改築・長寿命化、分散化・小規模化、民間活力の活用、資産活用など持続可能な運営策が議論され、住民参加や地域活動の強化を進めるとともに、地域の実情に即した柔軟で実効性のある公共施設のあり方が求められているとの意見がありました。

(イ) グループで出た主な意見

テーマ1 これからの公共施設にとって必要だと思う役割

- **子ども子育て・教育**：子どもが安心・安全に育つ環境の確保や、多様な子どもへのケア、子どもの学びの場の充実や地域での多様な学習機会の確保が求められる。
- **地域防災・治安・防犯**：目黒区は木造密集・坂道・河川など災害リスクが高く、地域防災機能の強化が必要。高齢者や子どもが安全に避難し、日常的にも安全に過ごせる場所の確保が必要。
- **窓口**：行政手続や福祉サービスの情報提供は最低限の機能。情報が届かないとサービスが受けられないため、アクセスしやすい窓口が求められ、デジタル化など多様な情報提供手段も必要。
- **居場所・地域福祉**：子どもから高齢者まで誰もが安心して過ごせる場所が必要。休憩や交流、孤立防止のための居場所機能が不足している。地域福祉の観点からも多様な人が利用できる、公共施設の「居場所」としての役割を強化すべき。
- **生涯学習**：図書館や学習スペースなど、学びの場の充実が求められ、地域ごとにアクセスしやすい学習施設が必要。情報の多様化に対応した学びの機会の提供が重要となる。
- **生活**：高齢者や単身世帯が増える中、最低限の生活支援機能が必要となる。地域で生活を支える仕組みや施設の充実が求められる。
- **スポーツ**：健康寿命の延伸や地域交流の促進のため、安価で利用できるスポーツ施設が重要。民間施設もあるが、こうした公共施設ならではの福祉的役割がある。
- **飲食**：子ども食堂や地域食堂など、食を通じた支援や交流の場が必要。様々な属性の人たちが利用できる飲食スペースの充実が求められる。
- **環境**：都市部で自然が減少する中、公共施設が環境保全に貢献すべき。自然環境の保全や緑地の活用により、環境教育の場としての役割も果たす。

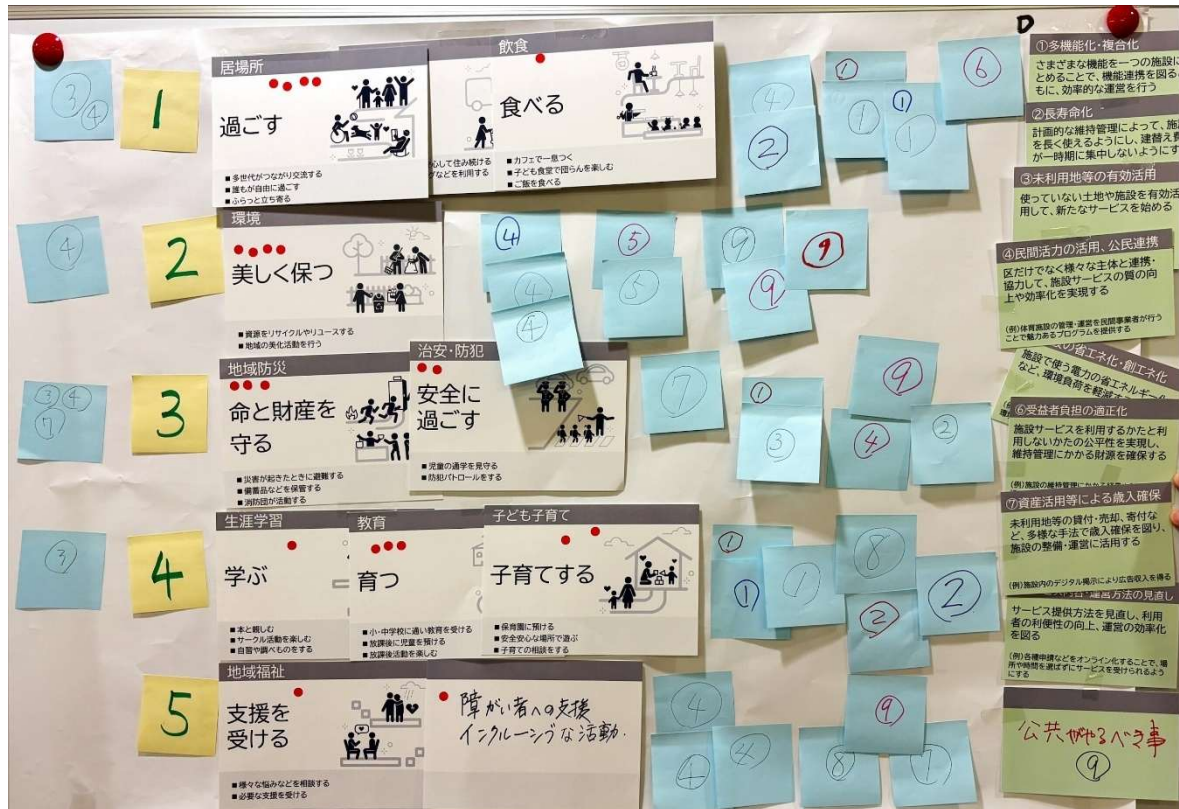
テーマ2 これからの必要な役割を実現するための対応策

- **長寿命化**：限られた財源の中で既存施設を大切に使うためにも、新築ではなく改築・改修による施設の長寿命化を優先。一斉建替えによる財政負担を避け、計画的な維持管理が重要。
- **サービス内容・運営方法の見直し**：利用者ニーズに合わせて、例えば会議室の個人利用など、サービスや運営方法を柔軟に見直す。オンライン化やデジタル活用による効率化も検討すべき。
- **多機能化・複合化**：学校・区民センター・図書館などを複合化し、機能連携を図る。一つの施設を多世代・多目的で利用し効率化を図る一方、複合化による管理コスト増には注意が必要。
- **施設の分散化・小規模化**：地域ごとに小規模な施設を分散配置し、高齢者や子どもが徒歩圏で利用できるようにし、アクセス性を高める。
- **未利用地等の有効活用**：土地や施設の貸付・転用による継続的収入を確保。
- **施設の省エネ化・創エネ化**：省エネ・創エネ技術の導入で環境負荷を軽減させる。
- **民間活力の活用・公民連携**：民間委託や指定管理者制度の活用で効率化・サービス向上を図りつつ、行政の責任も果たすべき。また、地域活動や市民参加を促進する仕組みも必要。
- **資産活用等による歳入確保**：貸付や広告料収入、寄付など多様な手段で財源を確保。売却

は最終手段とし、継続的な収入を得る工夫が必要。ふるさと納税や補助金の活用も検討すべき。

Ⅰ Dグループ

(ア) 模造紙及びグループで出た意見の要約



※Dグループでは、黄色のふせんの数字1～5の5本柱に役割カードをまとめ、それぞれの柱に対応する対応策カードの番号を、水色のふせんの数字①～⑨で示しています。

公共施設の役割として、世代や属性を限定しない居場所や交流スペースの重要性が強調され、生活インフラや環境美化、防災・安全確保など、日常の利便性と安心を重視する意見が多く出ました。

対応策としては、多機能化や民間活力の活用とともに、行政責任の明確化や区民自身が担い手となる仕組みづくりも議論されました。歳入確保や運営方法の柔軟化など、持続可能な公共施設運営への具体的な提案もありました。

(イ) グループで出た主な意見

テーマ1 これからの公共施設にとって必要だと思う役割

- **居場所**：子どもや高齢者、障害者など、誰もが気軽に立ち寄れる「居場所」としての公共施設が必要であり。孤独や孤立を防ぎ、世代間交流ができる場としての役割が求められる。
- **生活、飲食**：日常的に過ごせる場所として、カフェや飲食スペースがあると良い。特に高齢者や独居者が安心して過ごせる場、子育て世代が集える場が求められている。
- **環境**：目黒区の自然や緑を活かし、美しく保つことが公共施設の重要な役割。清掃や美化活

動、ゴミ箱の設置、トイレの衛生管理など、環境面の改善が求められる。

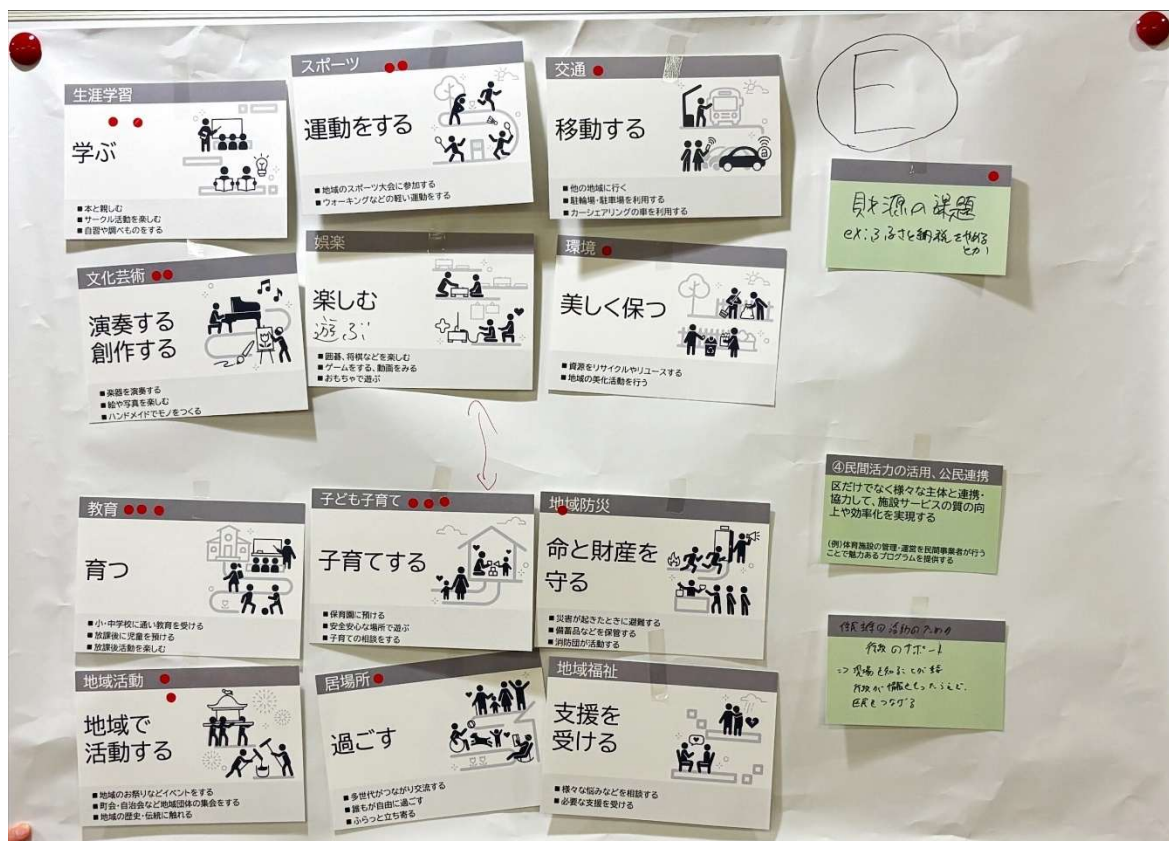
- **地域防災、治安・防犯**：災害時の避難場所や防災拠点としての機能が必要。密集住宅地や狭い道路への対応、ポケットパークや防火水槽の設置など、地域の安全確保が求められる。
- **生涯学習、教育、子ども子育て**：子どもから高齢者まで、誰もが学び続けられる場が必要。学校や学童保育、図書館の機能強化のほか、放課後の居場所づくりとしての役割も必要。
- **地域福祉**：高齢者や障害者、子育て世帯などが、福祉的な支援を受けられる場としての役割が求められる。孤立防止や地域の見守り機能も含めて、公共施設が担うべき。
- **障害者への支援・インクルーシブな活動**：障害者も含めて誰もが参加できるインクルーシブな活動の場が必要。バリアフリー化や多様なニーズへの対応が求められる。

テーマ2 これからの必要な役割を実現するための対応策

- **多機能化・複合化**：複数の機能を一つの施設に集約することで効率化・利便性向上を図る。世代や用途を限定せず、交流・学習・福祉・防災など多様な役割を持つ施設が理想的。
- **長寿命化**：既存施設の改修・維持管理を徹底し、建替コストを抑えつつ長く使うことが必要。新築よりも改修・延命を優先すべき。
- **未利用地等の有効活用**：空き地や未利用施設を防災拠点や交流スペース、福祉施設などに転用する。地域のニーズに合わせて柔軟に活用するべき。
- **民間活力の活用・公民連携**：民間企業や NPO との連携でサービスの質の向上や効率化を図る。ただし、行政の責任範囲を明確にし、丸投げにならないよう留意する必要がある。
- **施設の省エネ化・創エネ化**：環境負荷を減らすため、公共施設の省エネ化・創エネ化（自家発電・蓄電など）を推進し、2050年のゼロカーボンシティの目標達成を目指すべき。
- **受益者負担の適正化**：利用者と非利用者の公平性を保ちつつ、維持管理費用の一部を利用者負担とする。ただし、所得に応じた減免措置の検討など、経済格差への配慮も必要となる。
- **資産活用等による歳入確保**：未利用地の貸付や寄付、ふるさと納税の活用などで歳入を確保し、施設整備・運営に充てる。売却よりも貸付による継続的収入が重要となる。
- **サービス内容・運営方法の見直し**：運営方法やサービス内容を時代やニーズに合わせて見直す。柔軟な運用・デジタル活用・個人利用の拡大など。
- **公共がやるべきこと**：民間委託や公民連携を進める一方で、行政が最後まで責任を持つべき領域（福祉・防災・インクルーシブ支援等）は明確に区分し、丸投げを避けるべき。民間委託を行う際は、事業者からの報告と行政による検証を行う体制を強化する必要がある。

オ Eグループ

(ア) 模造紙及びグループで出た意見の要約



※Eグループでは、役割カードについて、生涯学習やスポーツなど区民意識や生活の質を高める役割のカテゴリ（写真上側）と、教育や子ども子育て、地域防災など地域の安全や社会資本の土台となるカテゴリ（写真下側）の2つに整理しています。

公共施設の役割として、子育てや生涯学習、スポーツ、文化芸術など、多様な役割を持ち、区民の福祉の増進や区民意識の形成などに寄与する公共施設の重要性が強調されました。

対応策としては、特に、住民主体の活動を支える行政のサポートや、民間・地域との連携強化、柔軟な施設運営が必要との意見が多く出ました。また、財源確保の課題については、ふるさと納税の見直しや補助金の活用、寄付など多様な手法を検討すべきとの提案がありました。今後は、区民自らが担い手となり、行政と協働しながら持続可能な公共施設運営を目指すべきだという方向性が示されました。

(イ) グループで出た主な意見

テーマ1 これからの公共施設にとって必要だと思う役割

- **生涯学習**：子どもから大人まで、学び続けられる場が必要。特に自習室や学びの場が不足しているため、既存施設の柔軟な活用や、有料でも良いので使いやすくしてほしい。
- **スポーツ**：健康維持や世代間交流のためにスポーツ施設は重要。民間施設ではカバーできない部分もあり、公共施設としての役割が大きい。利用しやすさや稼働率向上が課題となる。
- **交通**：高齢化社会に対応し、移動手手段の確保やアクセスの良い立地が重要となる。特に高齢者

や子育て世代が利用しやすい交通インフラや施設配置が求められる。

- **文化芸術**：目黒区らしさやアイデンティティを育むため、文化・芸術活動の場が必要。発表や創作の場、地域の誇りとなるような施設が求められる。
- **娯楽**：楽しみや自己実現の場として娯楽機能も重要である。スポーツや文化芸術と重なる部分も多く、世代を超えて楽しめる場が必要。
- **環境**：美しいまちづくりや自然環境の維持が重要。公園や公共空間の清掃・美化、トイレなどの衛生面の改善が求められる。
- **教育**：教育の質を維持しつつ、地域と連携したコミュニティスクール化などを進めることが重要。ただし、学校施設の老朽化や更新が大きな課題となる。
- **子ども子育て**：子育て世帯の孤立防止や親同士のつながり、子どもの居場所づくりが重要。行政と民間・地域が連携して支援する仕組みが必要となる。
- **地域防災**：災害時の避難所や防災拠点としての機能は必要不可欠。小規模な空き地やスペースも防災目的に活用を検討すべき。
- **地域活動**：住民主体の活動や市民団体の活性化が重要。活動する場だけでなく、助成金や伴走支援など、行政のサポート拡充が求められる。
- **居場所**：世代や属性を問わず、誰もがふらっと立ち寄れる居場所が必要。カフェスペースや多目的スペースの確保が望まれる。
- **地域福祉**：高齢者や障害者、子どもなど多様な人が安心して利用できるインクルーシブな施設運営を、行政の責任で進めていく必要がある。

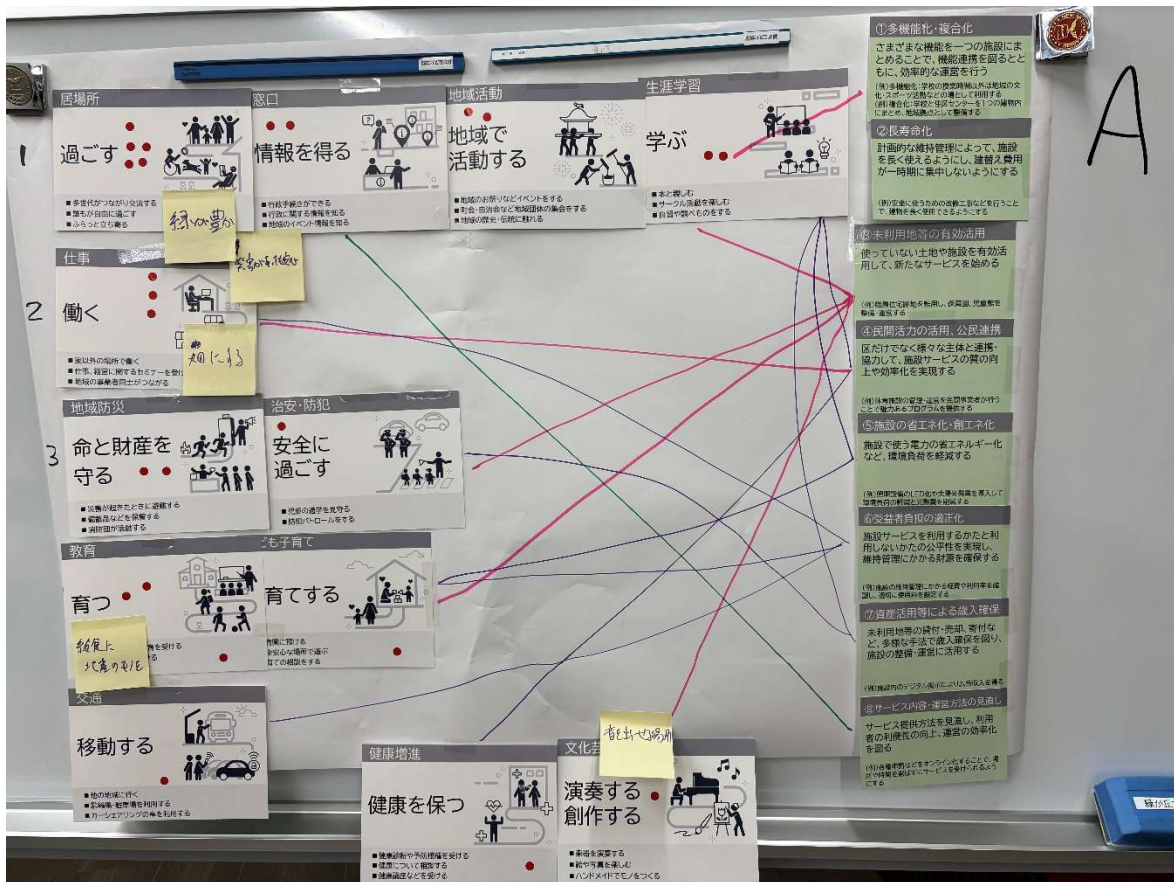
テーマ2 これからの必要な役割を実現するための対応策

- **財源の課題**：ふるさと納税による税収の流出や、自主財源だけでは限界がある中で、国や都からの補助金が不足していることも課題。寄付や広告料収入なども含めた、区独自の多様な財源確保策の検討や、国・都への働きかけなどが必要である。
- **民間活力の活用・公民連携**：民間企業や市民団体との連携強化が必要。単なる委託ではなく、地域活動の担い手育成や、民間のノウハウ活用、柔軟な施設運営が求められる。
- **住民主体の活動のための行政のサポート**：市民活動や地域団体への助成金拡充、伴走支援、中間支援組織の強化が必要。また、行政職員が現場に足を運ぶことで、情報共有やネットワークづくりを積極的に支援すべき。

(5) グループワークの結果 (10月28日)

ア Aグループ

(ア) 模造紙及びグループで出た意見の要約



※Aグループでは、役割カードを6つのまとまりに整理するとともに、役割カードと対応策カードとの関連付けについて、線で結んで表現しています。

これからの公共施設には、地域の居場所や防災拠点、教育・文化の核としての役割が求められ、こうした役割を通じた地域活動・安全対策の充実が重要との意見がありました。

対応策としては、多機能化・複合化として、小中一貫校の整備による教育の質向上などが挙げられ、学校の統合後も、地域の歴史や思い出を大切にする工夫が必要とされました。また、施設の長寿命化や民間活力の活用、省エネ化など持続可能な運営も重視されました。今後は、地域住民の声を反映しながら、魅力ある学校・公共施設づくりを進めていくことが重要とされました。

(イ) グループで出た主な意見

テーマ1 これからの公共施設にとって必要だと思う役割

- **居場所**：地域住民や子どもたちが安心して集える場としての機能が重要。学校は地域の核となる居場所であり、統合後もその役割を維持する必要がある。
- **窓口**：地域の情報発信や相談の場として、公共施設が住民の窓口となることが求められる。
- **地域活動**：地域における拠点として、学校や公共施設が地域活動を支える役割を担うべき。
- **生涯学習**：子どもだけでなく、地域住民の生涯学習の場としての機能も重要である。多様な学び

の機会を提供することが期待される。

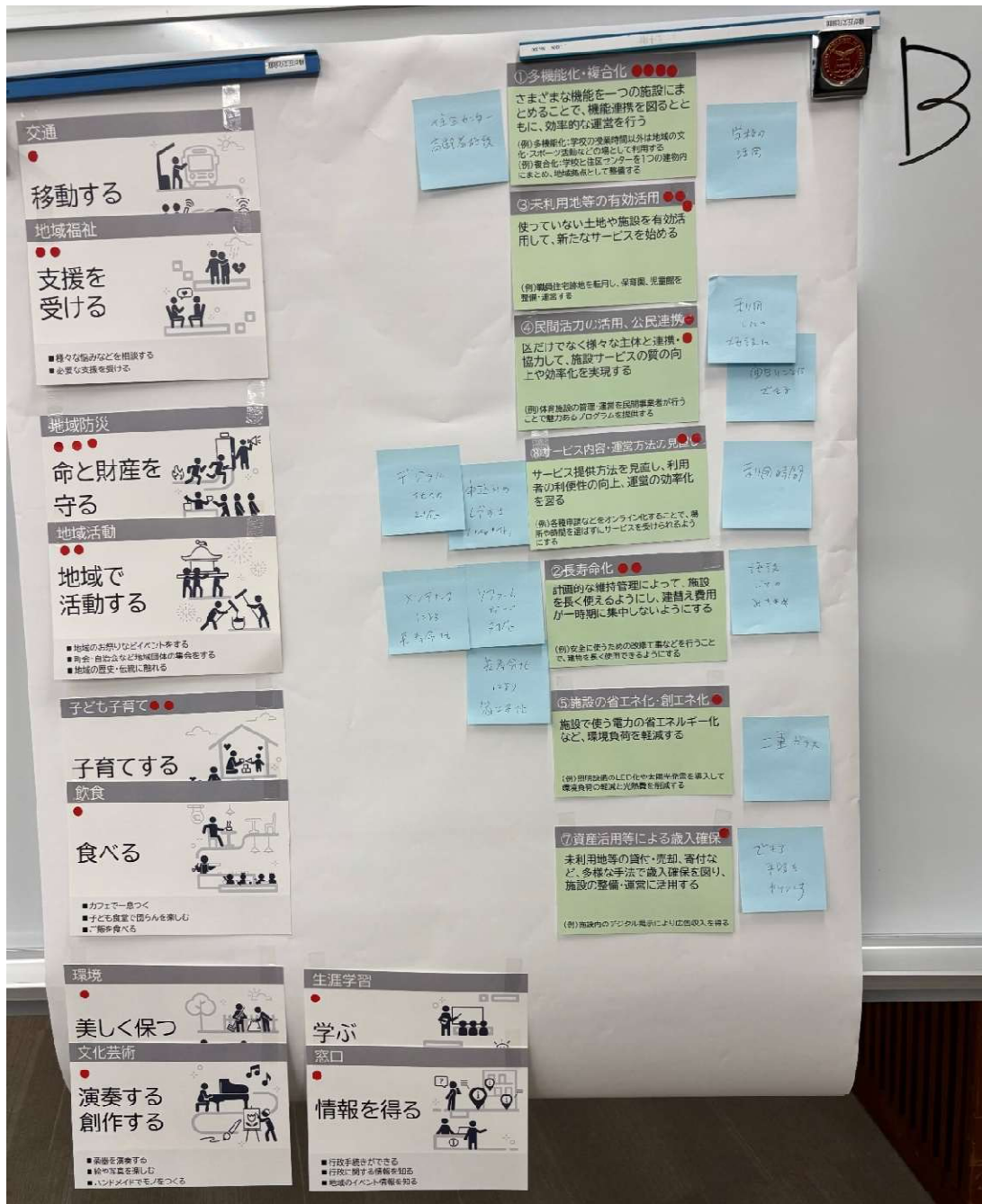
- **仕事**：公共施設の活用による地域雇用の創出や、民間との連携による新たな仕事の創出などがこれからの時代に求められる。
- **地域防災**：学校は防災拠点としての役割が大きい。統合後も、避難所機能や地域防災の中心としての機能を維持することが必要。
- **治安・防犯**：子どもたちの安全確保や、施設の防犯対策の強化が重要。施設設計や運営面での安全性向上が求められる。
- **教育**：教育環境の質の向上、適正規模の確保、教職員の専門性や指導体制の強化が必要。小中一貫教育による継続的な学びの実現が期待される。
- **子ども子育て**：子育て支援や児童の健全育成の場としての役割が重要。統合校でも、地域の子育て世代のニーズに応える体制が必要。
- **交通**：通学距離や交通安全への配慮が求められる。スクールバスの導入や、通学路の安全確保が必要となる。
- **健康増進**：施設の活用による健康づくりの推進を図るとともに、スポーツ施設・プール等の安全性・利便性向上が必要となる。
- **文化芸術**：地域で活動する人が音を出せる環境をつくり、地域の歴史や文化を継承する場として、メモリアルルーム設置など文化芸術活動の拠点機能も重要となる。

テーマ2 これからの必要な役割を実現するための対応策

- **多機能化・複合化**：小中一貫校の整備により、教育・地域活動・防災・生涯学習など多機能な施設運営を目指す。
- **長寿命化**：校舎の耐震化や設備更新を含め、施設の長寿命化を推進。鉄筋は80年、木造は50年を目標に整備する。
- **未利用地等の有効活用**：学校統合に伴い、旧校舎や未利用地の活用方法（メモリアルルーム設置等）を検討するべき。
- **民間活力の活用・公民連携**：プールやスポーツ施設の運営の民間委託、地域活動との連携など、民間活力の導入を模索する必要がある。
- **施設の省エネ化・創エネ化**：省エネ・創エネ設備の導入による環境負荷低減を目指す。
- **受益者負担の適正化**：公共施設のサービス内容や運営方法の見直しと合わせて、受益者負担の適正化も検討していく必要がある。
- **資産活用等による歳入確保**：学校統合によって生じる旧校舎や未利用地を賃貸・売却・地域活動スペースとして活用し、利用料収入やテナント誘致による収益化を図ることで、施設運営の財源確保につなげるべき。
- **サービス内容・運営方法の見直し**：学校に関して、今後は通学区域の弾力的運用や、特色ある英語活動などの全校展開を検討するなど、運営方法の柔軟な見直しが必要となる。

イ Bグループ

(ア) 模造紙及びグループで出た意見の要約



※Bグループでは、関連する役割を持つ役割カードについて、2枚を1組にまとめています。

これからの公共施設の役割として、「命と財産を守る」ことを最重要と位置付け、防災機能や地域のつながりの強化の重要性が強調されました。そして、食を通じた世代間交流、情報提供の窓口、美しい地域環境の維持など、相互に関連する多様な役割が挙げられました。

対応策としては、多機能化・複合化による施設の有効活用、民間活力の導入、サービスや運営方法の見直し、長寿命化・省エネ化によるコスト削減、資産活用による歳入確保など、限られた財源の中であらゆる工夫を行う必要があるとの議論がありました。

(イ) グループで出た主な意見

テーマ1 これからの公共施設にとって必要だと思う役割

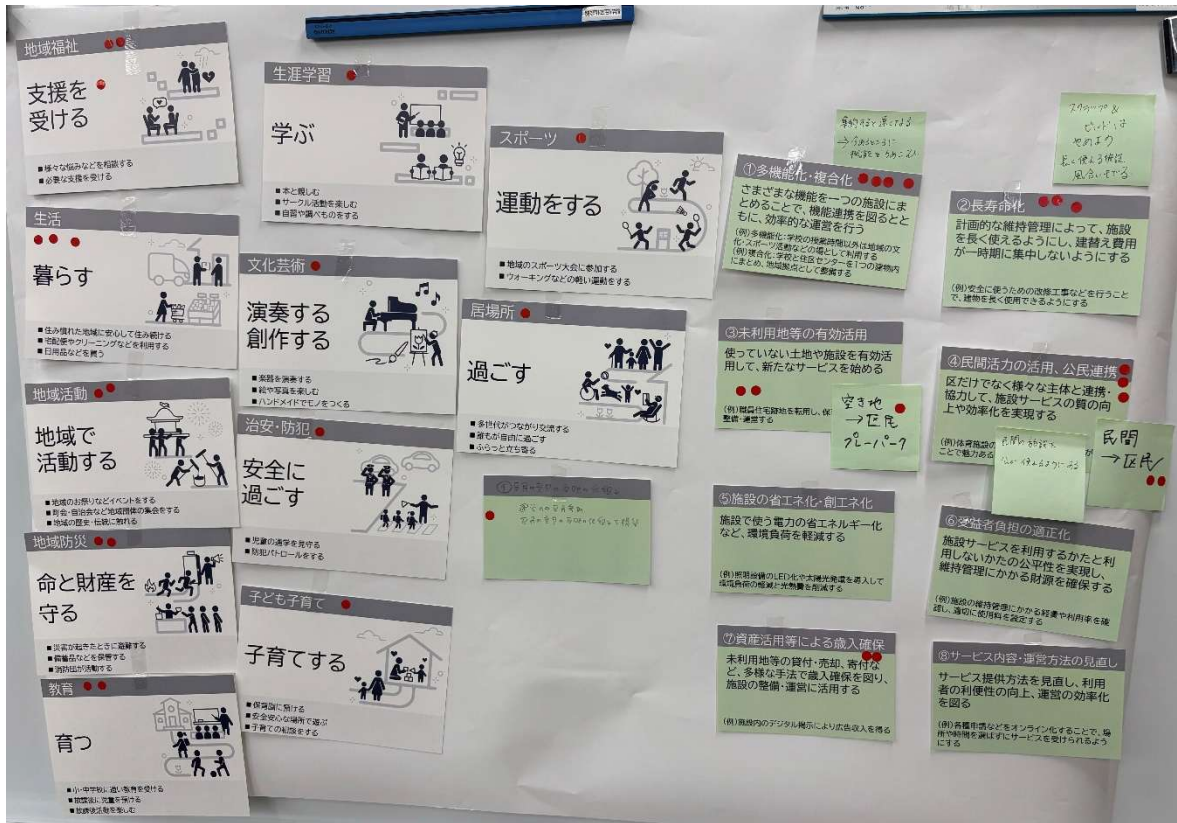
- **交通**：高齢者や子育て世代の移動支援が重要。乗り合いタクシーや公共交通の充実が必要。
- **地域福祉**：高齢者の介護や福祉サービスの充実が求められている。特に安価で入所できる施設や包括的な支援の場が必要となる。
- **地域防災**：災害時の避難所や備蓄品の確保、顔の見える地域の助け合いが重要。町会や自治会の防災活動の担い手不足も課題である。
- **地域活動**：町会活動や地域のお祭りなど、世代を超えた交流の場が必要。子ども時代の地域活動の思い出が大人になっても残るような場づくりが求められている。
- **子ども子育て**：子育て世代の孤立防止や相談・交流の場が重要である。保育園や児童館だけでなく、子育て情報が得られる窓口機能も必要となる。
- **飲食**：カフェや飲食スペースが世代を超えた交流のきっかけになる。食事を通じて情報交換や地域とのつながりが生まれる場となることが期待される。
- **環境**：公園の安全管理や美化、ゴミの管理など、街を美しく保つことが重要。公園の枝落ちなど安全面への配慮も求められる。
- **文化芸術**：情操教育や生涯学習の一環として、演奏や創作活動など、子どもから高齢者まで楽しめる文化芸術活動の場が必要。
- **生涯学習**：図書館や学習施設の充実、夜間利用の拡充など、幅広い世代が学び続けられる場が求められている。
- **窓口**：情報提供や相談ができる窓口機能が必要不可欠。困ったときに頼れる場所として、包括的な支援の拠点も必要となる。

テーマ2 これからの必要な役割を実現するための対応策

- **多機能化・複合化**：施設を複合化し、子育て、福祉、防災、飲食など多様な機能を一箇所で提供することで、利用者の利便性向上と効率的な運営を目指すべき。
- **未利用地等の有効活用**：空きスペースや跡地、使われていない時間帯の施設を、地域活動や多世代交流の場として有効活用していく。
- **民間活力の活用・公民連携**：民間企業や住民のアイデア・ノウハウを取り入れ、利用者ニーズに合った施設運営とサービスの質の向上を図るべき。
- **サービス内容・運営方法の見直し**：利用時間の延長や予約システムの改善、デジタル化など、利用者が使いやすいサービス提供への見直しが必要。
- **長寿命化**：施設の耐震化やメンテナンスを徹底し、建替えだけでなくリフォームや維持管理による長寿命化を進めるべき。限られた財源を有効に使う工夫が必要。
- **施設の省エネ化・創エネ化**：省エネ設備の導入や断熱化など、ランニングコスト削減と環境負荷低減を両立させる取組が重要。
- **資産活用等による歳入確保**：施設の有効活用や民間連携による収益化などの工夫が必要。

ウ Cグループ

(ア) 模造紙及びグループで出た意見の要約



公共施設の役割として、「支援を受ける」役割を高齢者だけでなく、働く世代や子ども世代にも広げて捉え、誰もが安心して住み続けられる地域づくりが重要と考えました。また、地域活動の拠点としての役割、特に防災時の在宅避難を前提とした支援体制の必要性も議論されました。そして、子どもを大切にすることで、働く世代の定住や将来の地域の担い手の確保にもつながるという意見もありました。

対応策としては、区民の力の活用を重視し、区民が活動できる場所の維持や、区民主体の運営が重要との意見がありました。多機能化や長寿命化も重要である一方で、施設の点在や使いやすさにも配慮が必要という議論もありました。

(イ) グループで出た主な意見

テーマ1 これからの公共施設にとって必要だと思う役割

- **地域福祉**：高齢者世帯だけでなく、働く世代や子ども世代も含め、幅広い世代が支援を受けられる体制が重要。高齢者へのサポートが充実すれば、働く世代も安心して暮らせる。
- **生活**：住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることが大切。長年住んでいる人も、新しく移ってきた人も、安心して生活できる環境づくりが求められる。
- **地域活動**：防災活動やイベント、ラジオ体操など、住民同士の顔が見える関係性が、安心や見守りにつながる。こうした地域での活動やつながりを支えるインフラとしての施設が必要。
- **地域防災、治安・防犯**：在宅避難が中心になるため、誰がどこにいるか把握できる体制や、地域

での見守りが重要。防災・防犯の観点からも、地域のつながりや情報共有が必要不可欠。

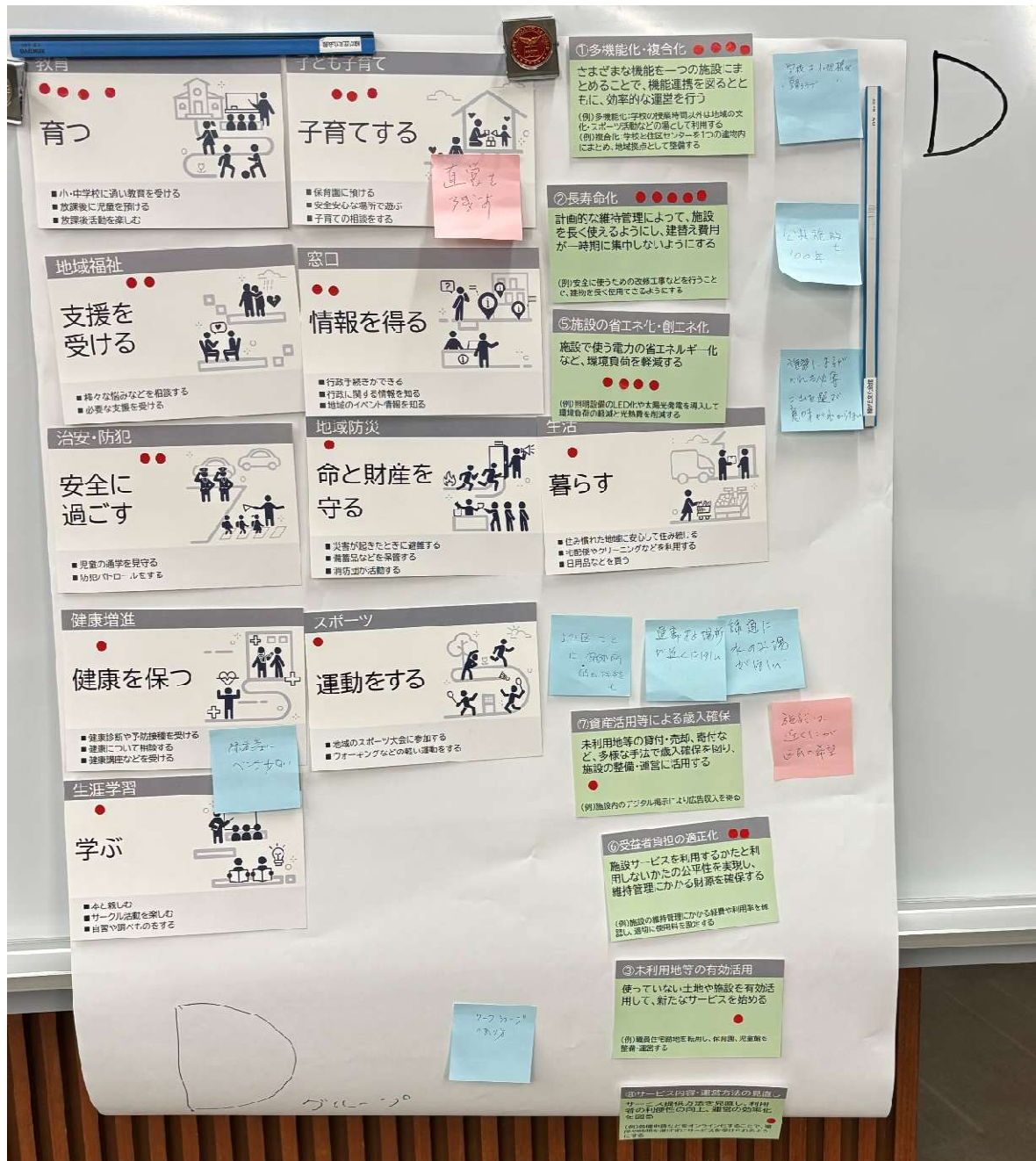
- 子ども子育て、教育：子どもを大切にすることで、将来世代が地域を支える基盤となる。学校や子育て支援の場が、世代を超えた交流や地域の拠点となることが望ましい。
- スポーツ、文化芸術、生涯学習、居場所：スポーツや文化芸術を通じた世代間交流や、誰もが集える居場所づくりも重視。学校や公園などを活用し、子どもから高齢者までが集える場が必要。

テーマ2 これからの必要な役割を実現するための対応策

- 多機能化・複合化：既存施設を活かし、複数の機能を持たせることで効率化。ただし、点在していた機能を集約しすぎると使いにくくなるため、地域に開かれた形での多機能化を進める。
- 長寿命化：新しい施設を建てるのではなく、既存施設を長く使い続けることが重要。スクラップ&ビルドではなく、今ある場所を発展・維持させていく方向。
- 未利用地等の有効活用：既存の未利用地や空き施設を有効活用し、新たなサービスや活動の場として活用する。
- 民間活力の活用・公民連携：民間事業者だけでなく、住民の活動や協力など区民の力を活用することが重要。区民が活動できる場や仕組みを整備し、区民のつながりを支援する。
- 区民の意見の反映の仕組み：区民の意見やニーズを反映する仕組みを強化し、区民が主体的に施設運営やサービス提供に関われるようにする。
- 資産活用等による歳入確保：既存資産の有効活用や貸付などで歳入を確保し、施設運営の財源とする必要がある。
- サービス内容・運営方法の見直し：将来世代のニーズも見据えながらサービスや運営方法を見直し、利用者の利便性や運営効率を高める必要がある。

エ Dグループ

(ア) 模造紙及びグループで出た意見の要約



公共施設の役割については、どれも必要としつつ、「教育」と「子ども子育て」や、「地域福祉」と「窓口」など、関連する項目を整理し、それぞれの必要性について議論しました。

対応策としては、長寿命化、多機能化・複合化が重視されましたが、学校施設の複合化には安全面から慎重な意見もありました。また、受益者負担の適正化については、施設利用料の適正化や社会的弱者への配慮が重要との意見が出されました。全体として、役割や対応策を整理しつつ、現実的な課題と公平な利用の重要性に焦点を当てた議論が行われました。

(イ) グループで出た主な意見

テーマ1 これからの公共施設にとって必要だと思う役割

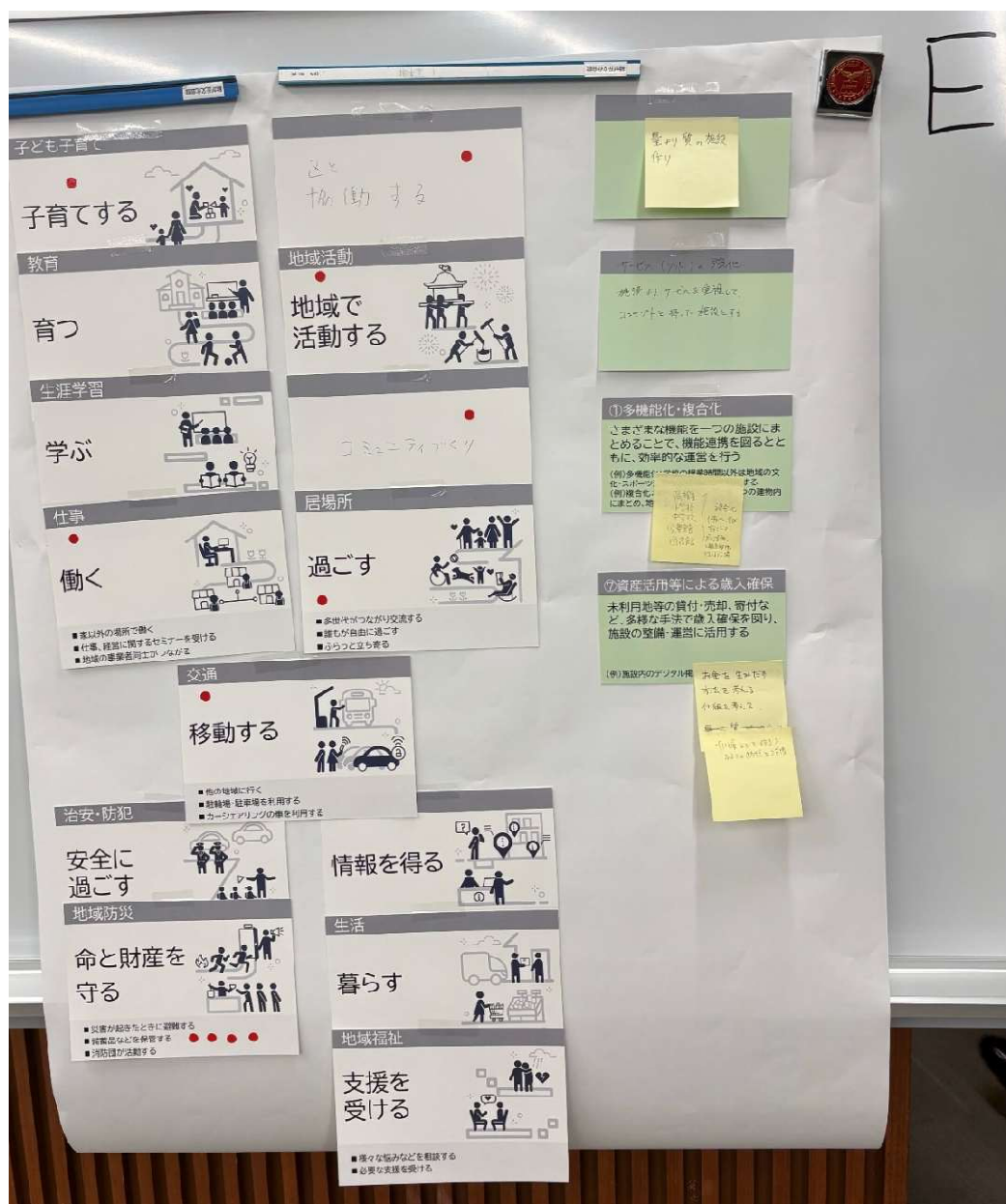
- **教育**：公立学校の維持や質の確保が重要。少子化でも学校数を減らす必要はなく、密度の高い教育が可能になる。放課後の活動も含めて、子どもが育つ環境を守るべき。
- **子ども子育て**：保育園や学童保育の質の維持が重要。民営化による質の低下を懸念し、区の責任で子育て支援を充実させてほしい。子育て世帯が安心して暮らせる環境づくりが求められる。
- **地域福祉**：公的な支援が重要であり、とりわけ情報提供や相談窓口の充実が必要。高齢者や子育て世帯など、支援が必要な人が安心して利用できる施設が求められる。
- **窓口**：区役所や住区センターなどの窓口機能が重要。生活に必要な情報を正確に得られる場としての役割が期待されている。
- **治安・防犯**：災害や犯罪から命と財産を守るための機能が必要不可欠。地域防災や防犯の観点から、公共施設が安全な生活の基盤となるべき。
- **地域防災**：防災の拠点として、情報提供や災害時の避難場所といった役割を果たすことや、地域の顔が見える関係づくりを進めることが重要。
- **生活、健康増進、スポーツ**：健康維持のために安価で利用できる運動施設や公園の充実が必要。高齢者も利用しやすいベンチや水飲み場など、生活に密着した設備の整備が求められる。
- **生涯学習**：子どもから高齢者まで、人生を通じて学び続けられる場としての公共施設の役割が重要。情報提供や学びの機会の充実が求められる。

テーマ2 これからの必要な役割を実現するための対応策

- **多機能化・複合化**：機能を一つの施設にまとめることで効率的な運営を図る。保健所や児童館など、近くに必要な機能を集約することで利便性を高めるべき。
- **長寿命化**：計画的な維持管理で施設を長く使うことが重要。メンテナンス不足による老朽化を防ぎ、トイレやWi-Fiなどの設備も含めて快適に使えるようにするべき。
- **施設の省エネ化・創エネ化**：LED化など環境負荷を減らす取組が必要。気候変動対策として、省エネ化は必須の取組である。
- **資産活用等による歳入確保**：未利用地の貸付や売却などで歳入を確保し、施設整備や運営に活用するべき。
- **受益者負担の適正化**：利用者負担を見直す際は経済的に厳しい人への配慮が必要で、負担の適正化は施設やサービスごとに検討すべき。
- **未利用地等の有効活用**：使われていない土地や施設を活用して新たなサービスを提供することが重要。
- **サービス内容・運営方法の見直し**：利用者の利便性向上や運営効率化のため、サービス内容や運営方法を見直すべき。

オ Eグループ

(ア) 模造紙及びグループで出た意見の要約



※Eグループでは、役割カードのうち「交通（移動する）」について、他のすべての役割を実現するための前提・基盤として、他の役割カードとつなぐ形で配置しています。

これからの公共施設の役割については、地域防災、居場所、子ども子育て、地域活動、交通のほか、独自のものとして、区と協働する、コミュニティづくりが挙げられました。その中でも、交通は施設利用の前提として必要不可欠であるとの意見や、地域防災に関して、防災拠点の配置や備蓄に課題があるなどの意見が出されました。

対応策では、資産活用等による歳入確保として目黒川の観光資源化やふるさと納税の活用などの財源確保策が提案されました。さらに、ハード面だけでなく、区民が主体となる地域活動やコミュニティづくりの推進といったサービス（ソフト）の強化も重要であると強調されました。

(イ) グループで出た主な意見

テーマ1 これからの公共施設にとって必要だと思う役割

- **子ども子育て**：将来の目黒区において、子どもが健やかに育つ環境や、子育て世代が安心して暮らせる場の確保が重要となる。子ども食堂や地域での子育て支援活動が必要とされている。
- **区と協働する**：区民と行政と一緒に地域課題に取り組む「協働」のため、従来の「場所の提供」だけでなく、区民が主体的に活動できるよう行政が積極的に関わるべき。
- **教育、生涯学習**：区民が主体的に学び合い、知識や経験を共有できる社会教育や生涯学習の場として公共施設を活用することが重要である。区民の力を引き出し、世代を問わず学び続けられる環境づくりが必要。
- **地域活動**：地域での活動拠点として、コミュニティづくりや住民同士のつながりを促進する場が求められる。孤立しがちな高齢者や子育て世代も気軽に参加できる場が重要となる。
- **コミュニティづくり**：区民同士が顔の見える関係を築き、支え合えるコミュニティ形成の場が重要。行政と区民が協力し、地域の課題解決や防災にもつながる場づくりが求められる。
- **仕事**：高齢化が進む中、シニア世代も含めた働く場の確保や、社会参加の機会提供が必要。ボランティアや地域活動も含め、仕事を通じた居場所づくりが求められる。
- **居場所**：孤立防止や多世代交流のため、誰もが気軽に立ち寄れる「居場所」としての公共施設の役割が重要となる。特に高齢者や子育て世代の孤立を防ぐための場づくりが重要。
- **交通**：公共施設へのアクセス向上や、区内の移動手段の充実が必要。高齢者や子育て世代が利用しやすい交通サービスの整備が求められる。
- **治安・防犯、地域防災**：地域の安全・安心を守る拠点として、災害時の避難や日常の防犯活動の場となることが求められる。住民同士や行政との連携による防災訓練や情報共有、見守り活動が重要であり、在宅避難を念頭に、地域のつながりを活かした支援体制づくりも必要となる。
- **窓口、生活、地域福祉**：行政サービスや生活支援の情報を気軽に相談・取得できる場として、住民の困りごとの解決や孤立を防ぐ役割が求められる。高齢者や子育て世代、障害者など多様なニーズに対応し、行政と区民が協力して地域で支え合う福祉の拠点となることが重要。

テーマ2 これからの必要な役割を実現するための対応策

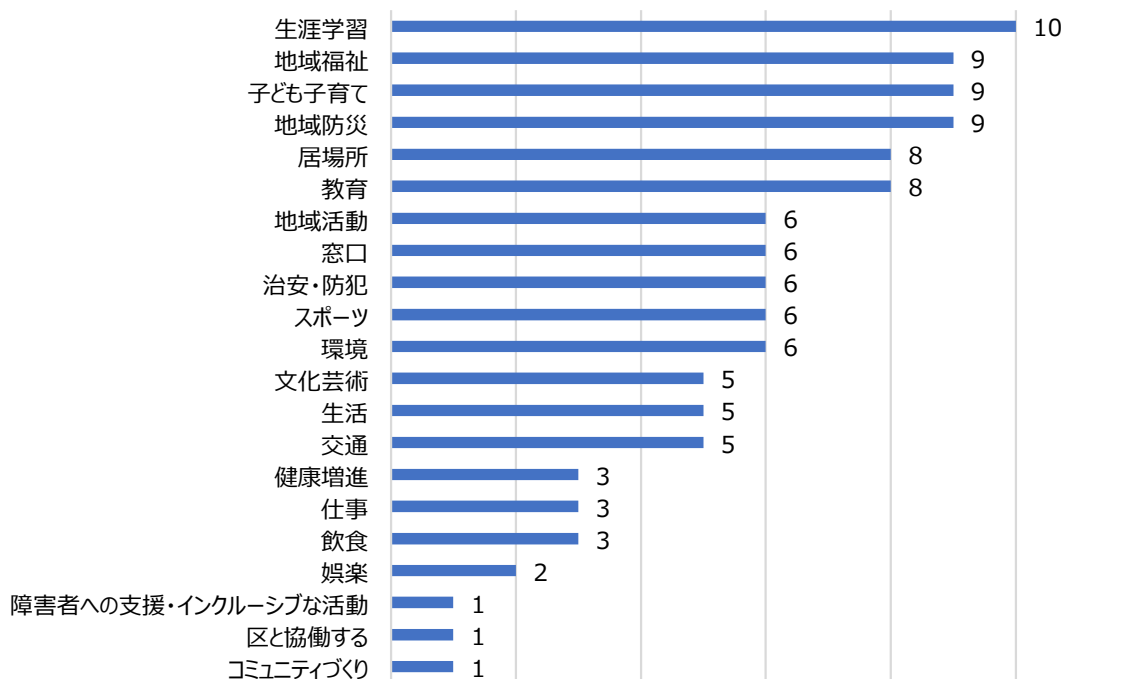
- **量より質の施設づくり**：施設の数を増やすよりも、内容やサービスの「質」を高めることが重要。多機能化や柔軟な使い方を重視し、維持管理や運営の工夫が必要となる。
- **サービス（ソフト）の強化**：ハード（建物）だけでなく、ソフト（サービス・運営）の充実が必要。区民の活動支援や情報提供、コミュニティ形成など、サービス面の強化が求められる。
- **多機能化・複合化**：複数の機能を一つの施設に集約し、効率的な運営や多世代交流を促進することが重要。学校・高齢者施設・地域活動拠点などを複合化し、活動の相互作用を引き出す。
- **資産活用等による歳入確保**：目黒川などの観光資源や未利用地の活用による歳入確保を進める必要がある。ふるさと納税の活用なども含めた、区独自の収入増加策を検討するべき。

(6) 2日間のグループワークのまとめ

各グループの参加者からの意見について、特に選ばれた数が多かったものを中心にまとめると、以下のような傾向がありました。

ア テーマ1：これからの公共施設にとって必要だと思う役割

各グループで選ばれた役割カードの数を集計した結果は、次のグラフのとおりです（全10グループ）。



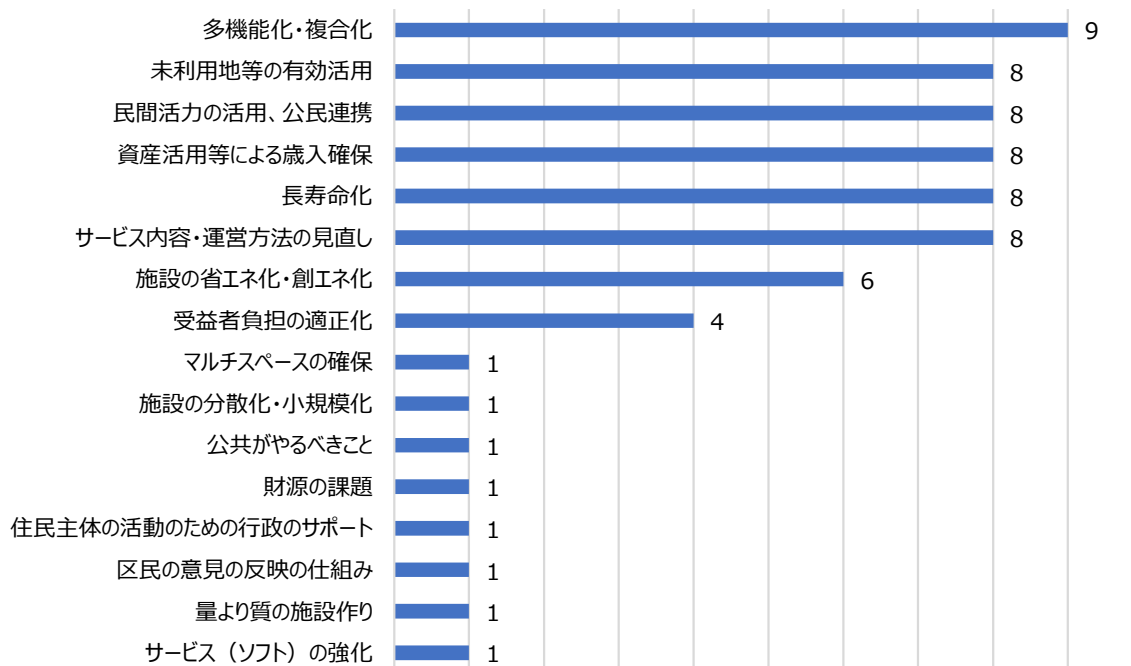
(全体的な傾向) これからの公共施設にとって必要だと思う役割

- 全体として、これからの公共施設は、単なる目的別の施設ではなく、教育・子ども子育て、生涯学習、スポーツ・健康、文化芸術、地域福祉、情報提供など、多様な機能をもち交流やつながりを生む地域拠点としての役割の必要性が議論されていました。また、命と財産を守る「地域防災」としての役割をもち平時は地域活動の拠点、非常時は防災拠点となることや世代や属性を問わない「居場所」としての機能、将来の担い手づくりや定住促進につながる「教育」、「子ども・子育て」の重要性などが各グループで話し合われました。
- 「生涯学習」（10グループ）は、全グループで選ばれ、子どもから大人まで世代を問わず、学び続けることができる場が求められています。
- 「地域福祉」（9グループ）は、「窓口」（6グループ）及び「生活」（5グループ）とも関連し、孤立を防ぐための見守りや、各種相談の拠点としての役割のほか、支援制度などの分かりやすい情報提供を含めた、誰もが頼ることのできる包摂的な支援を行う拠点が求められています。
- 「子ども子育て」（9グループ）は、「居場所」（8グループ）及び「教育」（8グループ）とも関連し、学校や公共施設を核として、放課後の居場所、学習支援機能、子育てに関する相談機能の充実を求める意見が多くありました。

- 「地域防災」(9グループ)は、「地域活動」(6グループ)及び「治安・防犯」(6グループ)とも関連し、避難場所としての機能強化のほか、地域での活動を通じた防災・減災の取組、そのための普段からの地域での顔の見える関係づくりも必要との意見が多くありました。
- 「スポーツ」(6グループ)は、「健康増進」(3グループ)とも関連し、誰もが利用できる運動施設の維持・拡充を通じて、健康寿命の延伸や世代間交流の促進を求める声もありました。

イ テーマ2：これからの必要な役割を実現するための対応策

各グループで選ばれた対応策カードの数を集計した結果は、次のグラフのとおりです（全 10 グループ）。



（全体的な傾向）これからの必要な役割を実現するための対応策

- 最も多く選ばれたのは「多機能化・複合化」（9グループ）で、学校と親和性のある施設との機能連携等による運営の効率化や、多世代による利用の促進などを求める声が多かった一方で、過度な集約や管理コスト増への配慮も必要とされました。
- 「未利用地等の有効活用」（8グループ）では、空き地や旧校舎のほか、未利用時間帯の貸付・転用などによる地域ニーズに応じた活用を進め、売却に偏らず継続的な収入の確保を求める声が多くありました。
- 「民間活力の活用、公民連携」（8グループ）では、指定管理等による効率化を図りつつも、行政の責任を明確にする必要性も指摘されました。
- 「資産活用等による歳入確保」（8グループ）では、貸付・広告料・寄付・ふるさと納税などによる多様な歳入確保策が求められました。
- 「長寿命化」（8グループ）では、新築より改修・維持管理を計画的に進め、財政負担を軽減しつつ、安全性と快適性の確保を図るべきとの声がありました。
- 「サービス内容・運営方法の見直し」（8グループ）では、予約など各種手続きのデジタル化、利用時間の延長、個人利用の拡充など、ニーズに合わせた柔軟なサービス内容や運用の見直しが必要との意見がありました。
- なお、各グループでは「マルチスペースの確保」以下、独自の対応策についてのアイデアが8つ提案され、これからの時代の公共施設における行政の果たすべき役割について、活発な意見が出されました。